

「ALSは業病」ツイートで炎上 石原慎太郎氏が謝罪

会員記事

久永隆一 2020年7月31日 16時08分

シェア

ツイート

ブックマーク

スクラップ

メール

印刷

list

0



石原 慎太郎
@i_shintaro

業病のALSに侵され自殺のための身動きも出来ぬ女性が尊厳死を願って相談した二人の医師が薬を与え手助けした事で「殺害」容疑で起訴された。武士道の切腹の際の苦しみを救うための介錯の美德も知らぬ検察の愚かしさに腹が立つ。裁判の折り私は是非とも医師たちの弁護人として法廷に立ちたい。

2020年07月27日 1:14 午後 - Twitter Web App

3,806 リツイート 1.4万 いいね



石原慎太郎氏の公式ツイッターに27日投稿された内容



う検察を批判する内容だった。

ツイートに対し、ネット上では「とんでもない差別発言」「作家なのに業病の意味さえ知らないのか」といった批判が相次いだ。

難病患者支援を行うNPO法人「境を越えて」の理事長でALS患者の岡部宏生さん(62)は「業病なんてあるのでしょうか。残念なことに影響力のある人で、賛同の意見が出ている事に驚き、悔しくてなりません」と答えた。

ALSを発症した母親の介護 経験があり、都内で難病患者の在宅療養の支援をする川口有美子さん(57)は「都知事 まで務めた人が、病で苦しむ人に向かって業病などというのは国際的にも恥ずかしい。あきれ返っている」と話す。

朝日新聞の取材に対し、石原氏の事務所は31日、「取材はお断りする。ツイッターで発信する予定なので、そのコメントを見てほしい」と回答。同日午後になって「ALSを難病とせず業病と記したのは偏見によるものでは決してなく、作家ながら私の不明の至りで誤解を生じた方々に謝罪いたします」と投稿した。

国立ハンセン病資料館 によると、鎌倉時代以降の中世から江戸時代にかけて、ハンセン病患者に業病という言葉が使われ、差別を助長する温床になった。(久永隆一)

難病の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の女性患者(当時51)に対する囑託殺人容疑で医師2人が逮捕された事件をめぐり、元都知事 で作家の 石原慎太郎 氏が自身の公式 ツイッター に投稿した内容が波紋を呼んでいる。石原氏はALSを「業病(ごうびょう)」と表現したが、業病とは「悪業(あくごう)(前世の悪事)の報いがかかると考えられてきた難病(広辞苑)を指す。いわれない言葉だとして関係者から批判の声が上がり、石原氏は31日、公式 ツイッター に謝罪の言葉を投稿した。

きっかけは27日の投稿だ。事件について「業病のALSに侵され自殺のための身動きも出来ぬ女性が尊厳死を願って相談した二人の医師が薬を与え手助けした事で『殺害』容疑で起訴された」(原文のまま)と記し、逮捕された医師2人の刑事責任を問